

令和8年度～令和17年度
さとうきび増産に向けた取組目標及び取組計画（3期）

小浜島

策定主体：小浜島さとうきび増産プロジェクト会議

地域において目指す姿

小浜島

本地域では、生産者の高齢化が進んでおり、収穫機械化体系の推進及び作業受委託組織の育成が重要な課題となっている。そのため、生産組合などの作業受委託体制の育成、強化、地域に即した生産対策を推進する。また、担い手の育成や生産組織の強化を通じて、収穫面積の維持・拡大を目指す。生産体制においては、機械化栽培体系化での省力的な多回株出栽培でも安定生産が可能な品種の開発と、生産者が実施可能な多回株出を重視した新たな栽培技術の普及が必要である。

増産計画目標

(1) 生産目標

	収穫面積 (ha)				単収 (t/10a)				生産量 (t)				
	夏植	春植	株出	合計	夏植	春植	株出	合計	夏植	春植	株出	合計	
R6年産策定時	28.0	7.0	40.0	75.0	7.2	4.2	4.0	5.2	1992.0	301.0	1573.0	3866.0	
R8年産	目標	30.0	5.0	40.0	75.0	8.0	5.2	5.6	6.5	2400.0	260.0	2240.0	4900.0
R9年産	目標	30.0	5.0	40.0	75.0	8.0	5.2	5.6	6.5	2400.0	260.0	2240.0	4900.0
R10年産	目標	30.0	5.0	40.0	75.0	8.0	5.2	5.6	6.5	2400.0	260.0	2240.0	4900.0
R17年産	目標	30.0	5.0	40.0	75.0	8.0	5.2	5.6	6.5	2400.0	260.0	2240.0	4900.0

(2) 担い手育成目標

	区分	認定農業者			受託組織		大規模生産農家	
		数	割合	割合	数	割合	数	割合
R6年度策定時		8			1		0	
R8年度	目標	10			1		0	
R9年度	目標	12			1		0	
R10年度	目標	12			1		0	
R17年度	目標	15			1		0	

(3) その他地域で独自に設定する目標

		—
R6年度策定時		—
R8年度	目標	—
R9年度	目標	—
R10年度	目標	—
R17年度	目標	—

(4) 分析と評価

① 2期計画で挙げた課題

・適期植付、肥培管理 ・単収向上 ・優良種苗の確保、増産 ・生産組合の活性化

② ①で挙げた課題に対して解決に向け取り組んだ内容

・農作業機械の導入 ・優良種苗安定確保事業の活用 ・受委託組織の組織化

③ ①で挙げた課題のうち②により解決した課題

適期植付、肥培管理 ・優良種苗の確保、増産

④ ①で挙げた課題のうち解決できなかった課題とその要因

適期植付、肥培管理(農作業機械の十分な確保が行えていない。)
生産組合の活性化(受委託を担える農業者の育成が不十分。)

⑤ 新たに生じた課題

・地力低下による単収の低下(緑肥栽培の推進) ・オペレータ不足による機械の有効利用 ・肥料・農薬の価格高騰
・干ばつ対策

⑥ 令和17年産目標に向けた現状評価及び見通し

夏植面積が前年より増加した。試験的に導入されたビレットプランターの効果が一定の成果を上げていると評価される。
一方で株出栽培における単収の低迷が依然として続いていることから、適期管理作業の徹底を図る。

(5) 地域重点事項(地域独自で取り組んでいる重点事項を記載)

・受委託作業の組織化や農作業機械オペレータの育成
・地力向上に向け、緑肥や堆肥等を用いた積極的な土づくり

(6) 以下の項目のうち重要（特に議論すべき）と考える項目を3つ程度選択して✓を入れて下さい。

1 経営基盤の強化

- 農地の利用集積、効率的なさとうきび経営の育成と労働力の確保
- 農業共済制度への加入促進

2 生産基盤の強化

- 気象災害に強い生産基盤の整備
- 機械化一貫体系の確立
- 地力の増進

3 技術対策

- 病虫害防除
- 台風・干ばつ対策
- 優良品種の選択・普及

4 その他（自由記述）

※✓した項目については、OPの「～～」を作成する

目標達成に向けた取組計画

I 経営基盤の強化

① 農地の利用集積、効率的なさとうきび経営の育成と労働力の確保

【現状】

・さとうきび生産に係る認定農業者は平成27年の20人から令和6年は17名であり、法人2、生産組合1の担い手形態である。

・農地中間管理機構の活用については、農地利用が飽和状態にあり、掘り起こしが必要となっているが、土地改良事業(南風田地区)により、さとうきび栽培面積約10haが確保できる見通しであるため、集積や効率的な農地利用が期待できる。

	R6	育成目標(R7以降)
認定農業者数	17	25
生産法人数	2	2
受託組織数	1	1

【課題】

農地利用集積について：農地利用が飽和状態にあり空いている農地が少ない。
効率的な経営の育成と労働力の確保：高齢化や農家の農業機械所有率が低く、受託組織の対応が追い付いていない。

【課題に対応した取組及びその実施者】

- ・ 農地中間管理機構の利用拡大(農地中間管理機構)
- ・ 農作業受託の効率化(工場、生産組合)

【計画】

＜短期計画＞ ※今年度か来年度頃に実施する予定の取組を記載

- ・ OCR調査時にさとうきび農家への今後の生産意向について確認し、さとうきび農地の貸し借りを推進する。
- ・ 引き続き各種オペレータ研修や各種機械実演会を通して生産法人等、オペレータの育成を実施する。
- ・ 生産法人の実態、生産過大の把握による各種生産対策（メンテナンス事業、地力増強対策）の実施。

＜中・長期的な計画＞ ※3～5年後、又は目標年度を見据えて実施すべき取組を記載

- ・ 地域計画の元、地域の話合いに参加し、さとうきび栽培の担い手へスムーズに引き継ぎ、農地中間管理機構を活用し、さとうきび農地の集積・集約化を支援する。耕作放棄地になった農地からさとうきび農地へ転換できるように、関係機関と連携する。

【自由記述欄】※例) 国補正事業(生産対策)のメニュー拡充のアイデア、要望等

—

目標達成に向けた取組計画

I 経営基盤の強化

② 農業保険の加入促進

【現状】

さとうきび生産農家の経営安定を図るため、農業共済組合八重山支所と連携し農業共済制度の普及・啓発、加入促進を図っているが、農家には収入保険制度に対する認識不足が見られるため、制度の理解促進が課題となっている。この状況を受け、説明会やOCR調査の機会を活用し、関係団体と連携しながら共済加入の促進と制度の普及啓発に取り組んでいる。

< 農業共済加入状況 >

	H26	H30	R6
共済加入戸数	21	29	23
(率)	39.6	52.7	46
引受面積(ha)	33.1	44.2	44.3
(率)	60.5	63.6	75

【課題】

- ・ 農家の共済制度に対する理解が十分でなく、一層の制度周知が必要。
- ・ 収入保険制度の周知が必要。
- ・ 高齢者や小規模農家は加入意欲が低く、共済制度加入への関心が薄い。
- ・ 大規模農家では掛金の負担が大きいいため、加入率の低下が懸念される。

【課題に対応した取組及びその実施者】

- ・ 共済制度や収入保険のパンフレット等を作成し、各種会議でPRを実施した（共済組合）
- ・ OCR調査等と併せた加入促進（共済組合、JA、町）

【計画】

＜短期計画＞ ※今年度か来年度頃に実施する予定の取組を記載

- ・ 共済制度への理解を得るため、引き続き集落、生産組合単位での共済制度説明会を開催し、引受推進に努める。
- ・ 共済加入率の増加に向けて、パンフレットを活用し、製糖終了報告会やさとうきび生産組合の会議等に合わせて、関係機関（農業共済組合やJA等）と連携し加入を推進する。

＜中・長期的な計画＞ ※3～5年後、又は目標年度を見据えて実施すべき取組を記載

- ・ 栽培管理改善による単収の向上で収益を増やし、共済加入への意欲を高める
- ・ 農業共済のパンフレットやチラシを活用し、加入の斡旋を継続して行う

【自由記述欄】 ※例) 国補正事業（生産対策）のメニュー拡充のアイデア、要望等

—

目標達成に向けた取組計画

2 生産基盤の強化

① 気象災害に強い生産基盤の整備

【現状】

<農業基盤整備の状況>

【現状】

土地基盤整備面積：59.4% (R6)

畑地灌漑整備率：16.8% (R6)

水源整備率：17.4% (R6)

} 竹富町全体値

【目標】

土地基盤整備面積：66% (R6)

畑地灌漑整備率：26% (R6)

水源整備率：27% (R6)

} 竹富町全体値

- ・河川はあるが、かんがい施設の整備が遅れており、安定的な生産が難しい。
- ・台風被害を受けやすいほ場については防風・防潮林の整備が必要である。

干ばつを受けやすい状況を考慮し、水源整備や灌漑施設の整備が求められている。

【課題】

- ・ 防風・防潮林の整備
- ・ かんがい整備の遅れやかん水の運搬車がなく、少雨時は干ばつの被害が見られる。
- ・ 2～3tタンクは有るが、運搬用トラックが無く、十分に機能していない。

【課題に対応した取組及びその実施者】

- ・ 防風・防潮林の整備(町、県)
- ・ 関係機関と連携したかん水作業の受託等干ばつ対策の実施(町、製糖工場、JA)

【計画】

<短期計画> ※今年度か来年度頃に実施する予定の取組を記載

- ・ 干ばつ対策の具体的な実施方法の検討

<中・長期的な計画> ※3～5年後、又は目標年度を見据えて実施すべき取組を記載

- ・ 必要な基盤整備を地域の実情に応じて着実に進める。

【自由記述欄】※例) 国補正事業(生産対策)のメニュー拡充のアイデア、要望等

—

目標達成に向けた取組計画

2 生産基盤の強化

② 機械化一貫体系の確立

【現状】

今後導入予定 (目標)		収穫状況		
		R4	R5	R6
ハーベスタ(中・小・超小 各1台)	3台	1112t	1032t	1382t
ビレットプランタ	3台	37%	37%	36%
全茎式プランタ	1台	1912t	1750t	2483t
プラソイラ	2台	63%	63%	64%
リバーシブルプラウ	2台			
ハーフソイラ	2台			
複合株出管理機	3台			
ディスクハロ	2台			
ハイクリブームスプレーヤ	2台			
農薬等散布ドローン	2台			
ユニック車(苗搬入機)	2台			
堆肥散布車	1台			

【機械化体系】	
耕起	プラウ
↓	
碎土・整地	プラソイラ・サブソイラ・ハーフソイラ・ロータリー
↓	
植付	全茎式植付プランタ
↓	
肥培管理	ブルトラ(施肥)・ロータリ スクープ・ブームスプレーヤ
↓	
収穫	ハーベスタ
↓	
株出管理	株出管理機・ハーフソイラ・カセットロータリ

【課題】

- ・ハーベスタの老朽化により計画通りの収穫作業ができない。
- ・採択地区数の減少によるハーベスタの更新が滞っている。
- ・株出管理が遅れることで、雑草繁茂や分けつ数が少なくなることにより、茎数不足となっているほ場も見られる。
- ・株出し管理機や刈取機については、オペレータ不足によって適期にうまく稼働ができず、低い稼働率となっているため、オペレータの育成・確保が急務である。

【課題に対応した取組及びその実施者】

- ・ハーベスタ機能向上事業の実施（県、町）
- ・機械導入事業の継続実施（国、県、町）
- ・オペレータの育成と受託組織の体制整備（農業機械協議会、さとうきび協議会、JA、県）

【計画】

<短期計画> ※今年度か来年度頃に実施する予定の取組を記載

- ・ハーベスタ機能向上事業の実施（県、町）
- ・機械導入事業の実施（国、県、町）

<中・長期的な計画> ※3～5年後、又は目標年度を見据えて実施すべき取組を記載

- ・機械導入方針による計画的なハーベスタ、株出管理機、植付機の導入および町I割上乘せ補助の維持（国、県、町）
- ・オペレータ育成に向けた講習会の実施（農業機械士協議会、さとうきび協議会、JA、県）
- ・ハーベスタ機能向上事業の継続実施（県、市町村）

【自由記述欄】 ※例）国補正事業（生産対策）のメニュー拡充のアイデア、要望等

—

目標達成に向けた取組計画

2 生産基盤の強化

③ 地力の増進

【現状】

- ・堆肥センターが無い場合、耕畜連携の体制構築が必要。
- ・緑肥を活用した土づくりの強化・拡大が必要。

【課題】

- ・堆肥の活用が進んでいない。
- ・製糖工場から排出される原料を活用した地力向上対策の推進

【課題に対応した取組及びその実施者】

- ・土壌分析と分析結果に基づく土づくりおよび耕畜連携支援（普及、JA、さとうきび協議会、町）
- ・フィルターケーキ活用による植付時の覆土や補植苗作りの技術普及（工場、普及、JA）
- ・生産対策を活用し深耕や心土破碎の実施（さとうきび協議会）

【計画】

＜短期計画＞ ※今年度か来年度頃に実施する予定の取組を記載

- ・ 土壌分析と分析結果に基づく土づくり支援
- ・ 生産対策を活用した新植で堆肥等有機物投入、植付前の緑肥栽培の推進。
- ・ 生産対策を活用し深耕や心土破碎の実施

＜中・長期的な計画＞ ※3～5年後、又は目標年度を見据えて実施すべき取組を記載

- ・ マニユアスプレッタの導入による堆肥や土壌改良資材の散布
- ・ 堆肥の品質向上策の検討や実証ほを設置することで、堆肥の利用促進を推進する

【自由記述欄】 ※例) 国補正事業（生産対策）のメニュー拡充のアイデア、要望等

—

目標達成に向けた取組計画

3 技術対策

① 病虫害防除

【現状】

防除機械等

ハイクリブーム（1台生産法人所有）
ブルトラ用ブームスプレー（個人所有）
動力付き噴霧器
手動噴霧器

主な使用農薬

殺虫剤 プリンスベイト・プレバソン（植付時）
スミチオン・プレバソン・ダントツ・キックオフ・サムコル（害虫防除）
ヤンヂオン（野鼠）

除草剤 カーメックス（植付時）
アージラン・24D・センコル・カーメックス（生育期）
コンパカレール・ラウンドアップ（圃場周縁）

一斉防除・防除期間等の定めは無し

【課題】

- ・病虫害防除は生産農家個々で行われているが、さらに効果を上げるため、一斉防除等の病虫害防除対策が必要である。
- ・メイチュウ類による芯枯れ対策について引き続き継続する必要がある。

【課題に対応した取組及びその実施者】

- ・メイチュウ類対策では交信攪乱法等の技術や、粒剤施用施用を活用した共同防除を徹底する。（県、町、さとうきび協議会）
- ・病虫害防除を効果的に実施するための共同防除、一斉防除の周知（県、町、さとうきび協議会）
- ・薬剤散布方法の講習会の開催、展示ほの設置（県、町、さとうきび協議会）

【計画】

<短期計画> ※今年度か来年度頃を実施する予定の取組を記載

- ・発生予察情報、巡回等により病虫害の発生状況を確認し、初期防除に努める。
- ・防除期間の設定

<中・長期的な計画> ※3～5年後、又は目標年度を見据えて実施すべき取組を記載

- ・一斉防除の実施。
- ・ドローン等のスマート農業技術の導入による防除作業の省力化。

【自由記述欄】※例）国補正事業（生産対策）のメニュー拡充のアイディア、要望等

—

目標達成に向けた取組計画

3 技術対策

② 台風・干ばつ対策

【現状】

【台風対策】

・倒伏に強く、糖度が安定したNI27号が主力となっているが、台風被害リスクを分散するため抵抗性品種、耐病性品種の導入を進めている。

【干ばつ対策】

- ・水源・灌漑整備率が低いにも関わらず、対策の検討が不十分。
- ・かん水用トラック導入の検討

今後は展示圃場を活用したかん水の効果的な啓発や、補助事業の活用による生産性向上支援も必要であるとともに、気象災害への対応力の強化が急務となっている。

【課題】

- ・ 防風防潮林の整備促進、育樹等管理作業の重要性に関する普及啓発
- ・ 干ばつ要件発生時の事業活用による生産回復を行う

【課題に対応した取組及びその実施者】

- ・ 講演会による普及啓発や地域生産者等による植樹、育樹活動の実施（県、町）
- ・ かん水事業による干ばつ対策の助成（さとうきび協議会、町）
- ・ かん水ポンプ一式の貸出（製糖工場）

【計画】

＜短期計画＞ ※今年度か来年度頃を実施する予定の取組を記載

- ・ 地域の干ばつ対策会議の開催によるかん水等対策の実施
- ・ セーフティ基金事業活用による自然災害（台風・干ばつ）への対策

＜中・長期的な計画＞ ※3～5年後、又は目標年度を見据えて実施すべき取組を記載

- ・ 耐風性、耐干ばつ性品種の育成・導入
- ・ 育樹等管理作業の徹底による防風・防潮林の整備

【自由記述欄】※例）国補正事業（生産対策）のメニュー拡充のアイデア、要望等

—

目標達成に向けた取組計画

3 技術対策

③ 優良品種の選択・普及

【現状】

品種別作型割合 (%)			
H18	Ni9	Ni11	NiF8
	23.0	20.9	15.3
H28	Ni27	NiH25	NiF8
	45.0	40.8	5.3
R1	Ni27	NiH25	NiF8
	63.0	14.3	8.8
R2	Ni27	NiF8	NiH25
	59.5	12.2	9.9
R3	Ni27	NiF8	NiH25
	58.9	12.6	8.5
R4	Ni27	Ni21	NiF8
	61.4	8.0	6.9
R5	Ni27	Ni21	RK97-14
	58.9	7.3	6.9
R6	Ni27	Ni21	RK97-14
	60.1	12.9	8.4

R6/7年期平均買入糖度 13.36度		最高買入糖度 17.5度	最低買入糖度 8.1度
R6/7年期 月別買入糖度平均			
1月	2月	3月	4月
12.76度	13.00度	13.57度	14.10度

原苗圃・採苗圃設置面積 (R6年度実績)	
原苗圃	採苗圃
60a	1.2ha
(R7年度予定)	
原苗圃	採苗圃
60a	30a

年度別平均買入糖度	
R5/6	14.40度
R4/5	13.38度
R3/4	14.00度

【課題】

- ・ 気象災害、病害虫に対するリスク分散を図るため、品種構成の適正化を図る必要がある。
- ・ 含蜜糖生産地域向けの品種の育成、選定

【課題に対応した取組及びその実施者】

- ・ 種苗対策事業による優良種苗ほの設置（県、町）
- ・ 品種構成の適正化（県、町、さとうきび協議会）
- ・ 農研センター等と連携した新品種・奨励品種等の試験圃の設置（県・製糖工場）
- ・ 採苗ほの設置（生産組合・製糖工場）

【計画】

＜短期計画＞ ※今年度か来年度頃に実施する予定の取組を記載

- ・ 品種の特性に対する理解を共有するため、栽培講習会を実施する。
- ・ 無病健全苗に対する講習会を実施し、種苗対策の強化に努めていく
- ・ 生産組合による共用採苗ほの設置

＜中・長期的な計画＞ ※3～5年後、又は目標年度を見据えて実施すべき取組を記載

- ・ 新品種の導入等による品種構成の適正化を図る。
- ・ 株出萌芽性、早期高糖性、機械収穫適応性等、地域に適応した安定多収品種の育成・普及を図り、生産性や品質の向上に努める。また、黒糖品質に優れた品種の選定、育成を促進する。
- ・ 各地域で必要な品種を情報収集し、地域の要望に沿った品種の育成を図る。

【自由記述欄】※例) 国補正事業（生産対策）のメニュー拡充のアイデア要望等

—

重点課題における関係者の役割分担と実施状況

重点項目： 農地の利用集積、効率的なさとうきび経営の育成と労働力の確保

機関名	前年度の取組について			取組の反省点・改善すべき点	今年度の具体的な取組計画	
	具体的な取組内容	設定した目標	自己評価		具体的な取組内容	設定する目標
竹富町					・認定農業者の育成 ・共済加入促進 ・中間管理機構の活用	・再認定の促進 ・共済PR動画の周知 ・地域計画協議の場での説明
普及課					認定農業者の育成	農業経営改善計画作成指導
小浜製糖工場					オペレータ育成 共済加入協力	受託体制の強化

重点項目： 機械化一貫体系の確立

機関名	前年度の取組について			取組の反省点・改善すべき点	今年度の具体的な取組計画	
	具体的な取組内容	設定した目標	自己評価		具体的な取組内容	設定する目標
竹富町					・事業導入計画 (機械、精脱施設)	機械導入方針に基づく実施及び 予算措置
JA					事業導入計画作成	機械導入方針に基づく実施
小浜製糖工場					事業計画作成における 情報提供等	機械導入方針に基づく実施

重点項目： 地力の増進

機関名	前年度の取組について			取組の反省点・改善すべき点	今年度の具体的な取組計画	
	具体的な取組内容	設定した目標	自己評価		具体的な取組内容	設定する目標
竹富町					・地域資源循環型農業 (堆肥づくり)の推進	耕畜連携体制の構築
普及課					栽培技術指導	現地検討会の実施
小浜製糖工場					栽培技術や土づくりの普及	耕畜連携体制の構築

さとうきび関係事業の活用実績（R7年度～）

【国補正事業（生産対策）】

事業年度	取組内容	計画額	うち補助金	実績額
R6補正・3次公募	新夏植植付 肥料補助	56,993,575	26,367,332	-

【セーフティネット事業】

事業年度	取組内容	計画額	うち補助金	実績額
R7年度.5・6月	令和7年度収穫予定 夏植・春植・株出 農薬助成	2,262,251	1,361,000	1,235,000

【実証・研究事業（国事業・県事業）】

事業年度	事業名	取組内容	総事業費	補助金	その他
-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-

【機械導入（国事業・県事業）】

事業年度	事業名	導入機械	総事業費	補助金	その他
-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-

【市町村単独事業】

事業年度	市町村名	事業名	取組内容	予算額	実績額
R7	竹富町	さとうきび増産対策事業	ヤソ防除	1,250,000	-

(参考情報①)

1. 島の概況、農業・さとうきび作の位置づけ等

・八重山群島の中央に位置する。島の周囲は16.6km、面積は7.84km²、人口は約560人である。
 ・さとうきびを中心とする農業が島の主な産業である。
 ・本土資本であるリゾートやゴルフ場が進出し、観光産業も盛んである。

2. さとうきび生産の現状

生産の現状
 令和6年度における小浜島のさとうきび生産量は、3,866+であり、目標値である4,920+の約78.6%に達した。前年(令和5年度)の実績は2,782+であったため、約1,000+の増加となり、生産状況は一定の改善が見られる。
 しかしながら農家戸数の減少や高齢化の傾向は依然として続いており、持続的な生産体制の構築が求められている。

【近年の作物別作付面積の動向】

(1) 作物別作付け面積の動向

	耕地面積	作付面積	耕作放棄地	さとうきび	かんしょ	水稻	野菜	飼料作物	その他
H17	11706	190	—	115	—	—	—	—	—
H18	11706	180	—	104	—	—	—	—	—
H19	11706	182	—	106	—	—	—	—	—
H20	11706	195	—	116	—	—	—	—	—
H21	11706	174	—	96	—	—	—	—	—
H22	11706	161	—	82	—	—	—	—	—
H23	11706	177	—	93	—	—	—	—	—
H24	11706	198	—	115	—	—	—	—	—
H25	11706	191	—	108	—	—	—	—	—
H26	11706	193	—	113	—	—	—	—	—
H27	260	167	33	70	—	—	—	98	—
H28	260	155	33	58	—	—	—	98	—
H29	260	172	33	74	—	—	—	98	—
H30	260	167	33	70	—	—	—	98	—
R元	260	167	33	58	—	—	—	98	—
R2	260	167	33	78	—	—	—	98	—
R3	260	167	33	77	—	—	—	98	—
R4	260	167	33	78	—	—	—	98	—
R5	260	167	33	59	—	—	—	71	—
R6	260	167	33	75	—	—	—	71	—

(2) さとうきびの収穫面積、単収、生産量、糖度の推移

	収穫面積 (ha)				単収 (t/10a)				生産量 (t)				糖度
	夏植	春植	株出	合計	夏植	春植	株出	合計	夏植	春植	株出	合計	
H17	48.0	4.0	13.0	65.0	6.3	2.8	2.1	5.2	3029	111	270	3410	14.8
H18	48.0	4.0	5.0	57.0	6.3	3.5	2.8	5.8	3009	141	142	3292	15.4
H19	47.0	2.0	7.0	56.0	6.7	5.0	3.1	6.2	3157	114	217	3488	14.4
H20	41.0	2.0	6.0	49.0	4.3	3.4	3.3	4.1	1773	70	189	2032	15.4
H21	39.0	8.0	5.0	52.0	9.0	5.7	4.8	8.1	3548	438	229	4215	13.9
H22	44.0	3.0	6.0	53.0	7.4	5.1	4.5	7.0	3270	144	247	3661	13.8
H23	21.0	5.0	12.0	38.0	4.5	3.4	3.8	4.1	958	175	435	1568	15.3
H24	39.0	10.0	10.7	59.7	5.2	2.7	2.3	4.3	2033	273	245	2551	15.2
H25	37.5	2.1	14.8	54.4	5.5	2.1	2.3	4.5	2063	45	338	2446	14.8
H26	39.7	4.1	9.6	53.4	6.8	4.6	3.6	6.0	2686	188	343	3217	15.1
H27	50.4	1.6	17.7	69.7	5.4	3.5	2.6	4.7	2736	57	451	3244	13.4
H28	32.5	2.0	23.0	57.5	6.6	5.9	4.0	5.6	2155	120	932	3207	14.6
H29	38.0	2.8	33.6	74.4	6.6	4.8	4.1	5.4	2501	133	1377	4011	14.1
H30	25.4	5.1	39.1	69.6	6.2	4.2	4.0	4.8	1564	211	1544	3319	14.0
R元	31.4	3.1	23.1	57.6	5.2	3.5	3.1	4.3	1621	107	724	2452	14.6
R2	32.5	5.8	30.2	68.5	6.6	5.4	4.6	5.6	2148	308	1396	3852	13.9
R3	34.9	7.0	37.5	79.4	7.6	4.6	5.5	6.3	2514	309	2033	4856	14.0
R4	26.6	3.0	48.0	77.6	5.5	2.5	3.1	3.9	1460	74	1490	3024	13.4
R5	8.8	9.6	40.3	58.7	6.1	4.7	4.4	4.7	541	456	1785	2782	14.4
R6	27.7	7.2	39.7	74.6	7.2	4.2	4.0	5.2	1992	301	1573	3866	13.4

(参考情報②)

【年齢階層別農家戸数】 H17～H30 70歳以上は60歳以上に含む

	29歳以下	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	合計
H17	4	6	8	21	30	69
H18	3	4	10	18	42	77
H19	0	3	8	7	25	43
H20	0	1	6	12	27	46
H21	0	1	4	3	17	25
H22	2	5	6	10	41	64
H23	2	4	5	12	32	55
H24	1	4	5	8	36	54
H25	1	2	3	8	28	42
H26	3	2	2	5	31	43
H27	3	3	2	9	35	52
H28	3	4	4	7	36	54
H29	1	7	3	6	36	53
H30	1	5	5	8	32	51
R元	4	5	4	6	34	53
R2	1	6	6	7	34	54
R3	0	5	4	10	40	59
R4	2	4	6	5	41	58
R5	2	4	6	4	35	51
R6	0	7	7	7	39	60

【経営（収穫）規模別農家戸数】

	100a未満	100～300a 未満	300～500a 未満	500a以上	合計
H17	—	—	—	—	0
H18	—	—	—	—	0
H19	—	—	—	—	0
H20	41	12	1	1	55
H21	41	12	1	1	55
H22	36	6	2	2	46
H23	30	11	1	—	42
H24	43	11	1	3	58
H25	40	9	6	1	56
H26	43	10	3	1	57
H27	34	16	4	—	54
H28	38	9	4	—	51
H29	32	12	8	—	52
H30	33	17	5	—	55
R元	31	18	4	0	53
R2	30	17	7	0	54
R3	31	24	4	1	60
R4	33	17	7	1	58
R5	31	16	3	1	51
R6	34	20	5	1	60

【製糖工場の操業状況】

	操業率 (%)	操業期間 (日)	歩留 (%)	トラッシュ率 (%)	HV 原料割合
H17	80%	70	12.66	0.9	
H18	86%	68	14.69	0.9	
H19	89%	70	12.67	0.9	
H20	61%	76	14.89	0.9	
H21	80%	65	14.09	0.9	
H22	83%	58	12.76	0.9	
H23	75%	85	14.03	0.9	
H24	76%	70	14.34	0.9	
H25	71%	41	14.16	0.9	
H26	81%	61	13.76	0.9	
H27	62%	62	11.07	0.9	
H28	76%	66	12.75	5.4	18%
H29	81%	91	11.30	5.1	47%
H30	53%	77	11.13	9.8	50%
R元	86%	90	13.33	7.3	55%
R2	98%	102	12.35	4.9	48%
R3	90%	57	7.50	7.3	54%
R4	93%	73	9.74	8.7	63%
R5	86%	71	11.91	7.8	65%
R6	73%	79	11.18	8.6	64%

(参考情報③)

【作業受託組織の状況】

	農作業受託組織数			農作業受託調整組織の有無と役割		
	合計	組織	個人	有無	名称	役割
R7	0	2	0	有	小浜さとうきび生産組合	全茎プランタ整備・管理 耕起整地碎土受委託 株出管理作業受委託
				有	有限会社小浜島ファーム	防除作業受委託

【作業委託料金】 全て税込み・設定方法については生産組合総会にて協議

作業名	料金	料金の設定方法及び島内の料金体系	備考
収穫	5,500	派遣手刈 時給952円～1100円(2025年1月時点) 請負手刈 8,000円/十 機械 ハーベスタ使用料4,000円/十 前処理(脱葉料)1,500円/十	-
植付	-	全茎プランタ貸出 5,000円/日 全茎プランタ植付(自己苗・採苗・植付) 11,000円~/10a	-
株出管理	12,000	株揃機 4,500円/10a 株揃・施肥・農薬散布 ハーフソイラ 2,500円/10a 心土破碎・根切り カセットロータリ 5,000円/10a 培土	-
防除	2,000	ブームスプレーヤ 2,000円~/10a 除草剤散布	-
耕起	5,000	プラウ 5,000円/10a プラソイラ 5,000円/10a スラッシャー1,000円/10分	-
整地	6,000	ロータリ 6,000円	-
碎土	-	ハーフソイラー(根切り) 2,000円(十字) 5,000円	-

(参考情報④)

【畑地かんがいの整備状況】

	貯水施設		畑地かんがい 整備率	かん水方法			畑地かんがい整備の現状と 整備率向上に向けた今後の取組
				形態	使用料金	使用条件等	
R7	地下ダム	-	-	-	-	-	-
	ダム	-	-	-	-	-	-
	ため池	3	-	Ⅲ型	無料	無し	アグリタンク設置の検討
	その他	-	-	-	-	-	-

(参考情報⑤)

【共済加入目標】

	H26	R6	R7	R8	R9	R12	R17
有資格戸数		50	50	50	50	50	50
加入戸数	21	23	30	40	40	40	40
戸数引受率(%)	39.6	46	60	80	80	80	80
対象面積(ha)		58.7	58.7	60	60	60	60
引受面積(ha)	33.1	44.3	44.3	50	50	50	50
面積引受率(%)	60.5	75	75	83	83	83	83
支払金額(円)	1,631,000	537,037(見込み)	—	—	—	—	—

【収入保険制度への加入目標】

	H30	R6	R7	R8	R9	R12	R17
有資格戸数	0	0	—	—	—	—	—
加入戸数	0	0	—	—	—	—	—
引受面積(ha)	0	0	—	—	—	—	—
面積加入率(%)	0	0	—	—	—	—	—

(参考情報⑥)

【作型別割合】

	夏植	春植	株出し
H17	74%	6%	20%
H18	84%	7%	9%
H19	84%	4%	13%
H20	84%	4%	12%
H21	75%	15%	10%
H22	83%	6%	11%
H23	55%	13%	32%
H24	65%	17%	18%
H25	69%	4%	27%
H26	74%	8%	18%
H27	72%	2%	25%
H28	57%	3%	40%
H29	51%	4%	45%
H30	36%	7%	56%
R元	55%	5%	40%
R2	47%	8%	44%
R3	44%	9%	47%
R4	34%	4%	62%
R5	15%	16%	69%
R6	37%	10%	53%
R17(目標)	26.6%	6.7%	66.7%

【株出し回数別面積】

	株出し回数別面積 (ha)								平均回数
	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回		
H17	28	0	1	0	0	0	0	1.07	
H18	16	0	0	0	0	0	0	1.00	
H19	22	0	0	0	0	0	0	1.00	
H20	25	0	1	0	0	0	0	1.08	
H21	25	1	1	0	0	0	0	1.11	
H22	35	1	1	0	0	0	0	1.08	
H23	47	4	1	0	0	0	0	1.12	
H24	64	13	7	1	0	0	0	1.35	
H25	6	5	3	2	0	0	0	2.06	
H26	10	0	0	0	0	0	0	1.00	
H27	16	1	0	0	0	0	0	1.06	
H28	21	2	0	0	0	0	0	1.09	
H29	30	3	1	0	0	0	0	1.15	
H30	27	11	1	0	0	0	0	1.33	
R元	14.5	7.1	1.3	0.1	0.1	0.0	0.0	1.46	
R2	22.6	5.1	1.8	0.3	0.0	0.0	0.4	1.39	
R3	29.3	7.7	0.2	0.1	0.0	0.0	0.0	1.22	
R4	33.4	10.7	2.6	1.3	0.0	0.0	0.0	1.41	
R5	21.8	10.2	6.3	1.2	0.3	0.6	0.0	1.75	
R6	13.0	12.9	8.3	3.6	1.5	0.0	0.5	2.24	
R17	20	15	10	3	2	0	0	2.04	

竹富町全体値

(参考情報⑦)

【近年の品種別収穫面積の推移】

作型	夏植						春植						株出し						合計						
	品種	Ni27	RK9714	Ni22	Ni21	NiF8	その他	Ni27	RK9714	Ni22	Ni21	NiF8	その他	Ni27	RK9714	Ni22	Ni21	NiF8	その他	Ni27	RK9714	Ni22	Ni21	NiF8	その他
H17	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
H18	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
H19	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
H20	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
H21	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
H22	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
H23	0.00	0.00	0.00	0.00	1.63	21.72	0.00	0.00	0.83	0.00	0.96	2.47	0.32	0.00	0.00	0.00	2.34	7.96	0.32	0.00	0.83	0.00	4.93	32.15	
H24	0.32	0.00	0.50	0.00	5.17	33.05	1.20	0.00	1.90	0.00	1.21	5.62	0.20	0.00	0.20	0.00	1.66	8.67	1.72	0.00	2.60	0.00	8.04	47.34	
H25	1.90	0.00	0.19	0.60	5.17	29.6	0.29	0.00	0.88	0.00	0.00	0.95	1.58	0.00	2.14	0.00	2.96	8.08	3.77	0.00	3.21	0.60	8.13	38.63	
H26	1.94	0.00	1.32	0.20	7.78	28.5	0.75	0.00	0.42	0.00	0.73	2.18	1.30	0.00	1.30	0.00	0.73	6.29	3.99	0.00	3.04	0.20	9.24	36.92	
H27	13.44	0.00	1.60	0.70	3.62	31.00	0.10	0.00	0.00	0.00	0.05	1.49	1.46	0.00	2.62	0.00	2.00	11.59	15.00	0.00	4.22	0.70	5.67	44.08	
H28	16.92	0.09	0.00	0.49	1.69	13.28	1.08	0.00	0.00	0.20	0.01	0.73	5.16	0.00	0.99	0.46	3.48	12.94	23.16	0.09	0.99	1.15	5.18	26.95	
H29	17.35	0.37	0.10	0.79	0.96	18.43	1.23	0.39	0.00	0.00	0.11	1.07	16.42	0.09	0.63	0.47	0.94	15.05	35.00	0.85	0.73	1.26	2.01	34.55	
H30	12.78	3.21	0.40	0.00	2.76	6.23	2.21	0.89	0.41	0.00	0.26	1.29	16.72	0.78	0.72	0.79	1.84	18.21	31.71	4.88	1.53	0.79	4.86	25.73	
R元	20.72	2.07	0.91	0.93	3.54	3.22	2.76	0.17	0.00	0.00	0.00	0.15	13.93	1.04	0.35	0.23	0.13	7.42	37.41	3.28	1.26	1.16	3.67	10.79	
R2	19.92	0.61	0.07	0.98	4.48	6.45	2.78	2.41	0.00	0.00	0.20	0.37	18.57	2.17	1.25	0.33	2.93	4.91	41.27	5.19	1.32	1.31	7.61	11.73	
R3	20.56	0.76	0.13	1.49	6.54	5.45	2.64	1.52	0.50	0.00	1.35	0.96	23.54	3.36	0.00	0.98	2.54	7.12	46.74	5.64	0.63	2.47	10.43	13.53	
R4	15.99	0.58	0.80	2.90	1.84	4.49	1.45	0.00	0.15	0.00	0.37	0.98	32.07	3.45	0.70	1.80	4.21	5.78	49.51	4.03	1.65	4.70	6.42	11.25	
R5	4.96	0.38	0.90	0.87	0.85	0.88	5.02	2.49	1.07	0.07	0.25	0.72	23.66	2.25	2.64	2.86	2.44	6.49	33.64	5.12	4.61	3.80	3.54	8.09	
R6	17.44	2.22	0.71	5.60	0.00	1.69	3.21	1.38	0.60	0.00	0.27	1.76	23.73	3.27	3.60	2.53	1.54	5.01	44.38	6.87	4.91	8.13	1.81	8.46	